

部局名	都市整備部			所属名	土木建設課			所属長名	新谷 等			電 話	483-1151 内線3620		
-----	-------	--	--	-----	-------	--	--	------	------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3316		事務事業名称	高野川上流排水整備事業								短縮コード	経常		臨時	3316	
予算区分	会計	01	一般会計		款	08	土木費		項	03	河川費		目	02	河川改良費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		高野川及び小竹川対策協議会規約										
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
昭和54年度より佐倉市と二市で高野川および小竹川対策協議会を設立し，高野川上流排水路の改修および維持管理を実施する。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系		6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして								
現在，高野川上流部の整備を進めている。また，今後は未整備箇所 の解消に向けて事業を進めていく必要がある。							大項目（節）	02	第2節市民の安全								
							中 項 目		01	1. 防災							
							小項目（施策）		03	(3)都市防災対策の推進							
							細 項 目		02	②河川の整備							
実施計画の計画事業		4042	高野川上流排水整備事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	高野川上流の雨水排水施設（佐倉市域を含む）						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 除草業務委託 外						
	※平成25年度に計画していること： 排水路整備工事，除草業務委託 外						
意図 （何を狙っているのか）	高野川上流での災害対策						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	要整備延長	m	1, 638	1, 724	1, 638	1, 724
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	整備延長	m	1, 638	1, 724	1, 638	1, 724
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	整備率（累計）	%	95	100	95	100
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	3316	事務事業名称	高野川上流排水整備事業			所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			水害の防止と解消に向けた整備を行う。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			排水施設の整備の推進にあたっては、経費の増加等が想定されるが、事業の成果向上を図ることができる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
低 下	☐		☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
高野川の上流部（佐倉市域）において、住宅浸水被害が発生しているので、早期の事業完了が要望されている。また、高野川の下流域の準用河川高野川の上流部および中流部においては、越水により農作物に被害が発生しているので、地元土地改良区からも事業の促進について要望がある。							

所属長コメント	集中豪雨などによる水害が発生している状況であることから、引き続き排水施設の整備を推進していく。						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。			
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							